

オプションデバッグソフト

オプションソフトの追加購入で他のCPUシリーズに対応 (Model 10を除く)

ARM MIPS SH V850 MN103

年間保守サービス (有償)

- テクニカルサポート (FAX/E-mail) の提供
- ソフトウェアのD/Lサービス
- マスタディスク・マニュアルの交換サービス
- 来社または出張によるサポートの提供 (別途有償)
- ユーザ様の環境を提供頂いた上でのサポートの提供 (別途有償)
- ハードウェア修理の基本費用の免除

マルチコアデバッグオプション (年間保守サービスへの加入が必須です。)

マルチコアのデバッグ環境を提供*

OS対応 (年間保守サービスへの加入が必須です。)

**Windows CE
デバッグオプション**

Windows CEの
デバッグ環境を提供

**Linux
サポートパッケージ**

Linuxデバッグのための
情報、サービスの提供

**Android
デバッグオプション**

Androidの
デバッグ環境を提供

T-Engine

T-Kernelデバッグ機能は、
標準で搭載されます

ソフトウェアをチューニングする情報を得るには
性能解析・品質改善支援ツール

QProbe

PARTNER-Jet Model40ギガトレースを利用すれば、数億のCPU実行命令の履歴を保存することができます。この大きなCPU実行命令の履歴を、PARTNERデバッガがソフトウェアデバッグに用いるソースデバッグ情報と合成します。QProbeでは、この合成された情報を用いて、実際に動作した命令から各種の解析情報を出力します。これらのQProbeの動的解析情報を性能改善や品質改善に利用することが可能です。



The Debugging Evolution PARTNER-Jet

PARTNER-Jet 仕様一覧

	Model10	Model20	Model30	Model40
対応CPUシリーズ拡張	-	OK	OK	OK
PC接続 (USB2.0/1.1 100BASE-TX/10BASE-T)	USB2.0	USB2.0	USB2.0/LAN	USB2.0/LAN
JTAGクロック	最大66MHz (自動設定)			
ブレイク機能	ソフトウェアブレイク	63点		
	ハードウェアブレイク	CPU内蔵ハードウェアブレイクを使用		
リアルタイムトレース	クロック	-	200MHz	400MHz
	容量	-	4.5Mbit	18Mbit
拡張I/F	-	400Mbps シリアルI/F		600MbpsシリアルI/F
ACアダプタ定格	IN	AC100~240V/50~60Hz 260mA		
	OUT	DC 7.5V 1500mA		
対応PC	WindowsXP (32bit版) / Vista (32bit版) / 7 (32bit/64bit版)			
サイズ	109 (W) × 148 (D) × 51 (H) mm			
使用環境	温度:5℃~35℃ 湿度:85%以下 (結露なし)			

*記載の社名、製品名は各社の登録商標または商標です。記載内容は予告なしに変更する場合があります。



京都マイクロコンピュータ株式会社

本社: 〒610-1104 京都市西京区大枝中山町2-44 Tel.075-335-1050
東京オフィス: 〒105-0004 東京都港区新橋2-14-4 Rビル5F Tel.03-5157-4530

<http://www.kmckk.co.jp/jet/>

お問い合わせメールアドレス: jp-info@kmckk.co.jp

京都マイクロコンピュータ株式会社

<http://www.kmckk.co.jp/>

PARTNER-Jet

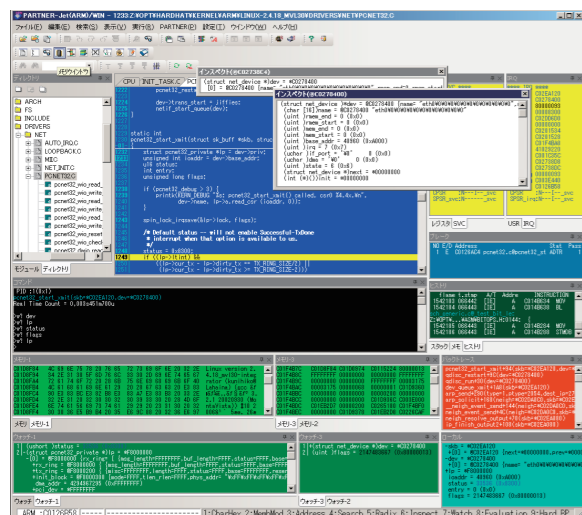
- ARM, MIPS, SH, V850, MN103と多彩なCPUに対応
- アップデートで新規プロセッサへの対応が可能
- 高速ダウンロード

- マルチコア/SMP対応
- Linux, Android, Windows CE など、各種OS対応

充実したデバugg基本機能

軽快動作のソースコードデバugg

- 使いやすいGUIと、プロフェッショナルなコマンドラインを搭載
- デバugg操作ヒストリー機能
- ユーザーエディタ連携
- メニュー、キーアサインカスタマイズ
- ステップ実行履歴機能
- 複数のシンボルモジュールや、リロケータブルシンボルへの対応



I/Oウィンドウ

CPUの周辺I/Oレジスタ等をユーザで定義することで、ウィンドウ表示が可能です。ビットの意味などを定義しておけば、CPUの状態を容易に知ることができます。

自動処理などを実現するマクロ機能を搭載

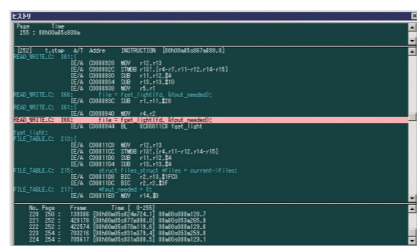
複数のコマンドを組み合わせて、新しいコマンドを構築する機能です。また、if文などのマクロ制御構造を有しているため、より複雑な処理を記述でき、自動処理や自動テストが便利に実現できます。

ソフトウェア、ハードウェアブレイクポイント

ソフトウェアブレイクポイントは63点、ハードウェアブレイクポイントはCPU内蔵の機能を利用し、メモリアccessブレイクなどを実現します。ハードウェアブレイクの機能については、CPUにより異なります。また、便利なprintfブレイク機能も搭載されています。

リアルタイムトレース機能(*1)

- 逆アセンブラ表示だけでなく、ソースコード表示、関数レベル表示
- 1Gバイトのトレースメモリを搭載した、Model40「ギガトレースモデル」



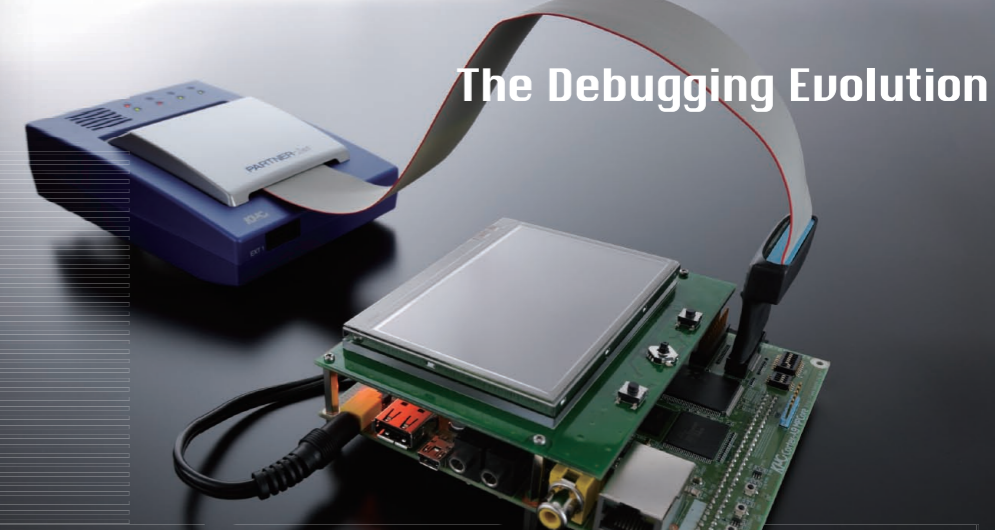
実行時間測定機能

デバuggでの実行からブレイクポイントの発生まで、また強制停止までの時間を自動的に計測できます。特定の処理の実行時間を、ブレイクポイントを使って簡単に計測できます。

フラッシュメモリ対応

- 各種NORフラッシュに対応
- フラッシュ上にS/Wブレイク設定も可能

デバuggソフトアップデートで、対応CPUの追加など

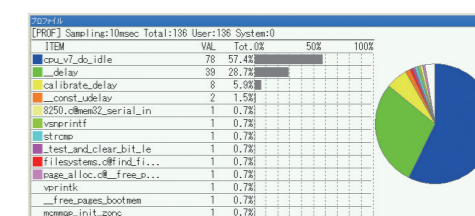


The Debugging Evolution

より便利なデバugg応用機能

プロファイリング機能

- プログラムカウンタサンプリングで、実行時の関数プロファイル
- 円グラフや棒グラフでGUI表示可能
- デバイスサポートありで、ブレイクしないでサンプリング
- デバイスサポートが無くても、自動バックグラウンドブレイクでサンプリング
- CPU固有のプロファイルカウンタへも対応(*2)



イベントトラッカー

- タスクやスレッドの実行状況をGUI表示(*3)
- タスク別実行時間などのプロファイルをGUI表示可能
- 任意のソフトウェアイベントをGUI表示するカスタマイズ機能付き
- リアルタイムトレース対応機種を使えば、タスク解析と命令解析の連携も可能(Model40を推奨)



A. CPU単位の実行状況が表示されます
B. プロセス、スレッド、タスクレベルでの実行遷移が表示されます

スナップショットデバugg

スナップショットデバuggとは

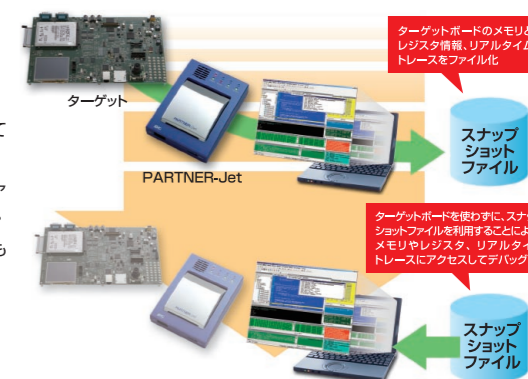
ある瞬間のターゲットのCPUの状態(汎用レジスタや制御レジスタなど)と物理メモリ、そしてリアルタイムトレース情報を、PARTNER-Jetを用いてファイルに保存します。

その保存されたファイルを用いて、ターゲットが接続されていない状態で、スナップショットファイルを保存したタイミングでのターゲットのメモリを参照したりするデバuggができる機能です。

リアルタイムトレースも保存できるので、スナップショット作成タイミングまでの実行履歴も確認できます。

PARTNER-JetのLinuxやWindows CE対応も利用可能です。

スナップショットモードでのデバugg時に、仮想空間のプロセスにアタッチして仮想空間のメモリを参照することができます。(ページアウトしている領域を参照することはできません)



Eclipse対応(*4)

- デバuggフロントエンドにEclipse/CDTを利用可能
- Eclipse/CDTで、エディットからビルドだけでなく、デバuggも直接可能



VLINK対応(*5)

- デバugg中のターゲットソフトウェアから、Windows上のファイルシステムなどのリソースアクセスが可能

(*1) CPUからトレース出力されることが必要です、またModel 10はトレース信号をサポートしません (*2) 対応CPUはお問い合わせください (*3) 一部のITRONやT-Kernel用のサポートコードは標準付属します。その他の場合は、OS用のサポートコードが必要です (*4) 保守契約が必要です (*5) KMC製コンパイラ、exeGCCと合わせて利用します

これらは全て標準搭載機能です